



東京都新しい公共支援事業

とことん NPOサポート プロジェクト 報告書 2011・2012年度

とことんNPOサポートプロジェクト 2011・2012年度

研修 + 個別相談 + 専門家派遣 で総合サポート



NPOサポートセンターは、2011年度および2012年度の「東京都新しい公共支援事業」を受託しました。

2011年度のテーマは「組織の強化に資する事業」「寄付事業に関する事業」「信頼性の向上に関する事業」「周知・広報に関する事業」、2012年度のテーマは、「組織の強化及び信頼性の向上に資する研修等」「寄付事業等及び周知・広報に関する研修等」です。

この事業は2年間を通じて、「とことんNPOサポートプロジェクト」としておこない、東京都で活動する非営利組織の基盤整備・強化を目的に、非営利組織のさまざまな運営課題に対して、「研修」「個別相談」「専門家派遣」を組み合わせた総合的なサポートを“とことん”提供しました。

拡大するNPO等の社会的役割

1998年のNPO法の制定以降、都内では9,000団体以上のNPO法人が活動し、NPO等が社会に対して果たす役割は拡大し続けています。企業や行政と連携した公共サービスの提供、指定管理者制度による公共施設の運営など年々NPO等が関わる事業の件数は増加しています。今後さらなる役割が期待される中で、NPO等には共感と信頼に基づいた組織運営を実現し、寄付者等の支援

者をはじめとするさまざまなステークホルダーと円滑な関係性を築いていくことが求められています。

必要とされるNPO総合サポートプログラム

都内のNPO等は、継続して事業規模が拡大し、約4割の団体が事業規模1,000万円を超えており、その大半で有給常勤スタッフが事務局運営を担っています。

団体の運営上の課題としては、活動資金の獲得、事業の継続性、団体の専門性の向上などがあがり、それらの解決に必要な対策としては、組織のマネジメント力の向上、他組織との協働の実現、スタッフの育成・専門性の向上などが指摘されています。一方で、非営利組織の運営に必要なさまざまな実務に対応し、体系化されたサポートはありませんでした。

「とことんNPOサポートプログラム」は、そのような状況の中で、2011年12月からスタートしました。



●事業概要

期 間 とことん NPO サポートプロジェクト 2011 年度 2011 年 12 月 27 日～2012 年 3 月 31 日
とことん NPO サポートプロジェクト 2012 年度 2012 年 10 月 26 日～2013 年 3 月 29 日
会 場 23 区内、多摩地区
対 象 東京都内に事務所を置いている、特定非営利活動法人、公益法人、ボランティア団体などの民間非営利組織で活動している人（理事、事務局長、スタッフ、ボランティアなど）
参加料 無 料

とことん NPO サポートプロジェクト 2011 年度

研 修
実施カリキュラム数：50 科目
実施回数：64 講座
申込者数：1,743 人
受講者数：1,272 人

個別相談
実施件数：92 件

専門家派遣
派遣希望団体数：68 団体
専門家派遣団体：42 団体



とことん NPO サポートプロジェクト 2012 年度

研 修
実施カリキュラム数：70 科目
実施回数：180 講座
申込者数：4,419 人
受講者数：2,867 人

個別相談
実施件数：256 件

専門家派遣
派遣希望団体数：198 団体
専門家派遣団体：129 団体





研修・講座

受講者数 2011年度 **1,272人** 2012年度 **2,867人**

1年目:高いリピート率を記録

2011年度は4つのテーマ「周知・広報」「寄付」「組織の強化」「信頼性の向上」に「次年度に向けて」を加えて、ボランティア団体、NPOをはじめとした幅広い団体のニーズに応じて「基礎」「応用」「専門」の3レベルの研修を実施しました。

具体的かつ活動に直接いかせる内容であることに重点を置いた結果、「明日からすぐに実践してみます」といったコメントが寄せられるとともに、1人あたりの受講研修数も、3～4研修と高いリピート率を記録することができました。受講者のコメントから、「これまでにない多様な研修メニューが魅力的で、継続的に開催して欲しい」という声が目立ちました。

一方、メニューが多いことから、「どのような順番で受講すればよいのか悩む」「自分のレベルにあった研修がどれなのか分かりづらい」といった受講者の意見も参考に、2年目は、カリキュラムの体系化なども含め、研修の全体像をわかりやすく整理して実施することを目指しました。

2年目:多様なニーズに対応

2012年度の研修の実施にあたっては、非営利組織の運営に必要な知識・スキル体系を作成し、それに基づいてカリキュラムの設計をおこないました。

研修受講対象者は「組織の分野」「団体の規模」「経験年数」「団体内での役割」「団体との関わり方」など非常に幅広く、多様なニーズに対応する必要があったため、以下のような研修体系とすることで、より効果的なプログラムとすることができました。

- 研修テーマ:「広報」「寄付・ファンドレイジング」「組織の強化・信頼性向上」
- 研修レベル:「入門編」「実践編」「戦略編」の3段階
- 研修形式:「単発講座」「連続講座」
- 受講対象:「個人」「組織(チーム)」

国内では類をみない多彩なカリキュラム(右側参照)や連続講座を中心とした実践的な内容を提供し、アンケートからも95%以上がカリキュラムに満足しているとの結果を得られました。



周知・広報

- ・NPO広報“早わかり”広報活動の整理とアクション
- ・行列ができる!思わず手にとるチラシの作り方
- ・人を動かすパブリックスピーキング 演出家から学ぶプレゼン術
- ・ビジョンを体現するホームページ作り WEBの企画作り
- ・ロゴってなに? どうやって作るの? ロゴづくりABC
- ・共感と呼ぶストーリーを組立てる団体&プロジェクト動画作成・配信のポイント
- ・ソーシャルメディアの成果を最大化させる「NPOのITテクノロジー戦略」の最前線
- ・成果を出しているNPOを徹底分析 インターネット広報戦略
- ・取り上げたいプレスリリース実践団体の活動をマスメディアで発信する方法
- ・広報媒体を魅力的に変える写真でメッセージを届ける「撮影・レイアウト術」
- ・支援者の共感を生み出す「活動の物語を伝える」メールマガジンのつくり方
- ・正しい広報活動で潜在的なパートナーが見つかる
- ・企業・メディア・支援組織が求めるコンテンツ戦略
- ・90分で学ぶ記者から信頼される関係づくり講座
- ・活動が広がるFacebookページの始め方と運用
- ・伝わる広報紙・ニュースレターの編集術
- ・ひと工夫で変わる活動・イベント写真の撮影術
- ・イベント主催者のためのオンラインツール徹底活用術
- ・ソーシャルメディア上のインフルエンサーとの付き合い方
- ・デジタル・ストーリーテリングを活用した社会課題への取り組み
- ・参加者を巻き込む「Twitter実況中継術」
- ・支援者になってもらうための改善方法「NPOのためのウェブ分析入門」
- ・事務局スタッフのためのHTML基礎(コーディング入門)
- ・「オンライン会報誌・新聞」による支援者コミュニケーション活性化



寄付

- ・ファンドレイジング“早わかり” 資金調達「はじめの一歩」
- ・継続的な組織運営のための会員・寄付者の獲得と継続的な関係構築
- ・電話・メール・御礼状の書き方等の実務から考える
- ・「NPOの支援者対応」基礎と実務
- ・90件の成功事例から学ぶ「オンライン寄付キャンペーン」のメカニズム
- ・実践者・リーダーのための組織の潜在力を活かしたファンドレイジング戦略
- ・活動の改善につながる事業・課題を「見える化」するリサーチ法
- ・審査員の視点を理解し提案力をアップする
- ・伝わる助成金申請書の作成ポイント
- ・はじめてのオンライン決済「導入前のポイント」
- ・成功するオンライン寄付の集め方
- ・オンラインで共感を生む「メッセージ」のつくり方
- ・助成財団とNPOのパートナーシップ
- ・地域通貨を知ろう! 使おう! NPOでの活用とは?



組織の強化

- ・チームで取組む 基盤強化を実現する組織の“自己診断”
- ・組織を改善したい人必見! 対話で見つける団体の魅力や課題
- ・ステークホルダー・ダイアログ演習
- ・事業展開の可能性を広げる「社会人ボランティア」の獲得に必要なステップ
- ・スタッフのコミットメントを上げる「絆や信頼関係を強化」する組織運営
- ・コミュニケーションのスタイルを見つめ直す
- ・成果を生み出す組織に必要な「チームビルディング」
- ・ミーティング運営・イベント集客・年間計画作成
- ・組織&チーム運営に必要な3つの要素
- ・ロジを究める 実務力・段取り力を高める仕事術
- ・業務フローの作成で業務を可視化 段取りよく進めるための「プロジェクト管理」
- ・初任者のためのキャリアデザイン研修 NPOキャリアをデザインしよう
- ・入職5年目からのNPOキャリアを考える
- ・組織マネジメントと自分のキャリアマネジメント
- ・事務局運営・会計/税務・労務管理 押さえておきたい事務局業務
- ・簿記の基礎知識から日常の記帳手順・期末処理まで NPOの会計・税務の実務
- ・知って安心! NPO運営上のリスク 今日からできる「リスク・マネジメント」
- ・コンセプト・表現・レイアウトで変わる 成果が見える事業報告書の作成
- ・企業担当者の本音から学ぶ 企業との協働企画作成のポイント
- ・これだけは知っておきたい わかりやすい企画書作成
- ・「NPOマーケティング」入門
- ・地域コミュニティに支持されるNPO活動
- ・行政との協働のポイント
- ・「伝える力」で社会を変える ブランド戦略の基礎と実践
- ・事例から学ぶ「SROIを用いた社会的事業評価」
- ・ソーシャルメディアを活用したムーブメントの起こし方
- ・ボランティアマネジャーのためのオンラインツール徹底活用術
- ・ボランティア体験に学習をプラスする「サービスマネジメント」のススめ
- ・プロボノが成果を出せる環境づくりのポイント
- ・メンバーの意欲を高める「コーチング」入門
- ・団体を支えるメンバーのモチベーション向上策
- ・多様な働き方・離れた場所で運営できる「クラウド事務局」
- ・相手の合意と行動を獲得するプレゼンテーションの技術
- ・NPOスタッフ向け「マネーライフ・プランの立て方」
- ・NPOの新会計基準「知っておくべきポイント」
- ・知っておきたい「NPO労務管理」の実務
- ・信頼性を高める「双六で学ぼうNPOの情報セキュリティ」



信頼性の向上



個別相談

実施件数 2011年度 **92件** 2012年度 **256件**

研修実施後、相談用専門窓口を設け、メール・電話での回答に加え、個別相談日を設定。満足度は非常に高く、ほぼ100%近くの参加者から満足との回答が得られました。個別相談は、各種専門的なテーマから団体の運用に関わるさまざまな内容でした。

●主な相談内容

イベントの集客のための広報力強化／ファンドレイジングの実践方法／ソーシャルメディアの効果的な活用方法／ホームページリニューアルの仕方／マスコミ対応／広報ツールの改善／新会計基準の導入の方法およびポイント／会計の期末処理の手続き／就業規則の作成ポイント／事業運営上のトラブル対応／ボランティアスタッフの活用と組織の活性化／企業との協働事業展開方法



専門家派遣

派遣団体 2011年度 **42団体** 2012年度 **129団体**

専門家派遣では、2年間を通じて、実務経験豊富な専門家体制を整え、団体の多様なニーズに対応することができました。派遣の時間帯に関しても団体の体制や希望に応じて、休日や夜間などの派遣にも対応。また、専門家派遣の事前ヒアリングをおこなうことで、団体のニーズや課題を整理し、専門家派遣のゴール設定の精度を高めることにつながりました。専門家とのマッチングの際には専門分野だけでなく、専門家と団体の相性なども考慮して対応したことで高い成果や満足度を得ることができました。2年目は専門家派遣の上限回数を1年目より増やすとともに、支援の内容や団体の体制に応じて派遣回数(2～6回)を団体が選べるようになったことや、団体が専門家を推薦できる「推薦型」の制度を設けたことで、より柔軟な対応が可能になりました。



●主な派遣内容

周知広報・寄付

広報計画、広報戦略の検討／団体ウェブサイト作成／団体ロゴの作成／メディアへのアプローチ法／ソーシャルメディアの活用方法／コミュニケーションツールの改善／会員・寄付メニューの見直し／ファンドレイジング戦略の検討／寄付事業の計画・立案／寄付者データベース導入の検討／オンライン決済システムの検討／支援者コミュニケーションの改善／助成金活用

組織の強化・信頼性の向上

チームビルディング／組織体制の見直し／人事制度作り／就業規則や給与規定などの規定類の整備／事業報告書の活用／事業評価の仕組みづくり／NPO法人化の検討／事業領域の見直し／定款等の変更／新規事業の立案／会計事務の整備／支援者の個人情報の管理／次年度に向けた事業計画の検討／事業報告書の改善／ボランティア管理データベースの活用／財務管理の指導



参加者の声

- ・経験豊富な方々で、勉強になりました。理論だけでなく実践的でした。
- ・実習を交えた内容だったので、すぐに活用できそう。
- ・目から鱗の素晴らしい内容だった。新しいことも多かったが、よくまとまっていた、盛りだくさんだった。
- ・他団体の事例研究など、時間をかけてやる機会がないので、とても参考になりました。
- ・大変わかりやすかったです。ただ時間が短かった。未経験者クラスと実務者クラスをわけ、実務者にはワークをふんだんに取り入れた、より実践的な内容にしてくださいと泣いて喜びます。
- ・わかりやすい。進め方もよく、他団体との交流もあり、あっという間に時間が過ぎました。
- ・とてもリラックスした雰囲気でご様が自由に積極的に発言できる構成になっていたのが良かったです。
- ・組織外の方からの声を聞かせていただく良い機会となりました。振り返りできました。

- ・ご相談したことに的確なアドバイスをいただくことができ、大変満足しました。
- ・具体例を提示してくださり非常に参考になりました。問題に対しての取り組み方、切り口・考え方等を教えていただき大変ありがたかったです。
- ・資金調達、広報から総務系まで、幅広いバックグラウンドの専門家がいらっしゃるので、特に法人設立直後で団体の基盤整備が必要な当団体には大変ありがたいしくみでした。
- ・その道のプロとして活躍されている方から直接アドバイスをいただいたことで、専門家派遣期間中に具体的なアクションを実際に起こすことができました。このプログラムに参加しなければ、自分たちでは実現できなかったと思います。
- ・これまでの経験で、専門家によるアドバイスが必要なことはわかっていたが、資金面の問題でなかなかお願いすることができなかった。今回のような支援は非常にありがたかった。

参加団体の取組と変化

スタッフの関係性変化で組織基盤強化へ

NPO法人 国際文化青年交換連盟日本委員会(ICYEJAPAN)

<http://www.icye-japan.com/>

ICYEJAPANは、平和理解を促進するための異文化交流・国際協力ボランティアプログラムとして、海外ボランティア派遣事業や企業の社員海外研修、ギャップイヤー推進活動などに取組んでいます。

体制強化による課題

事務局のコアスタッフが1人から4人に短期間で増えたため、コミュニケーションがうまくとれず、各事業部で何をやっているのか共有できていませんでした。経営や組織にとって重要なことについて、考えたり議論したりする時間をもつことができていないことも課題でした。

スタッフの関係性の変化

専門家派遣では現状の課題とスタッフそれぞれの危機意識の共有をおこないました。専門家のアドバイスでコアスタッフそれぞれが、経営的に気になっていることや、他の部門の業務で議論したいことなどをアジェンダにして議論する「経営ミーティング」と、理事・インターン生など、運営に関わるスタッフによる「情報共有ミーティング」をそれぞれ一回約2時間、月に2回ほどおこなうことにしました。経営ミーティングと情報共有ミーティングが定期開催されたことによって、団体内の情報共有度は格段に上がりました。経営ミーティングでは、コアスタッフ4人が個人で抱え込まずに議論できるようになり、チーム内の対話が生ま



れ、コアスタッフの関係性の強化につながりました。また情報共有ミーティングでは関わる全てのスタッフが、経営的な状況や各部門の状況などについて共有することができるようになりました。当初の課題だった「情報共有ができていない」という課題は大きく改善され、さらにスタッフ間の関係性が強化され、楽しくチームに“変化”しました。今回専門家派遣をおこなったことで、スタッフ間での「1つの事業に対する価値観やゴール」「ボランティアやインターンに関する考え方」「自身の行動規範の理由や背景」「簡単には話せない団体の歴史」なども共有できました。スタッフのモチベーション向上と団体の課題認識と、それに対する解決策への取組みの強化が実現されて、短期間で“組織基盤強化”につながったことを強く実感しています。

ファンドレイジング計画実践で年間寄付者が5倍に増加

NPO法人 ぱお

<http://www.npo-pao.org/>

ぱおは、1998年に設立され、障がいを持つ子どもの余暇や放課後の時間を楽しく、そして、発達支援の場となる活動をおこなっています。また、障がいの程度や種類を問わず受け入れ、個々の発達段階に合わせたプログラムにより、興味の拡大や自立の促進、わかることとできることを増やす活動を続けています。

認定NPO取得を目指して

専門家派遣前は、自由で充実した活動を継続的におこなうために、「認定NPOを取得し、もっと寄付を増やす必要がある」と考えていましたが、何から着手してよいかわからない状態でした。

団体にあった取組みによる変化

専門家派遣では、最初に理事や関係者と一緒に団体のミッション・ビジョン、事業の中長期目標から確認しました。その上で、認定NPO取得の申請スケジュールを検討し、寄付のメニューの検討、ウェブサイトの改善など、ファンドレイジングのアクションプランを作成しました。また、広報ツールについても、ターゲッ



トごとにツールを活用する仕組みやダイレクトメールの活用の仕方について具体的に検討する機会をもちました。何から着手してよいかわからない状態だったにもかかわらず、専門家には団体の状況を加味しながら進めていただけたので、団体として取組みやすい内容となりました。実際に寄付募集をはじめたところ、順調に会員や寄付者が増えてきており、個人の寄付者は前年度、年間20件から100件を達成することができました。

広報改善で外国人受入ホストの登録数増加

“ホームビジット”事業で、外国人旅行者をより多く受け入れるためには、より多くの受入先となる一般家庭（ホスト）が必要でしたが、今までホストを増やすための広報にうまく取組めていませんでした。年間の広報戦略や情報発信プランがなく、ニュースやコンテンツを発信する際に計画的に発信できていないという課題を抱えていました。専門家派遣では、「情報の整理・リリースの作成・配信」「情報発信先の選定と各ターゲットに向けた文言の作成」「年間の広報プラン作成」に取組みました。専門家からのアドバイスと実際のリリース配信によって、「ウェブサイトのアクセス数」「メディア露出回数」を増加させることができました。Yahoo ニュースやalterna などにも記事として取り上げられ、結果的にホストの登録数の増加にもつながりました。このプログラムに参加しなければ、自分たちでは実現できなかったことだと感じています。

ファンドレイジングに向けた広報戦略策定から実行へ

団体設立以来、ホームレスの自立支援事業を実施してきましたが、リーマンショック以降の「若者ホームレスの増加」を受け、活動の幅が若者のホームレス化の予防や支援団体間のネットワークづくりなど多岐に広がっていました。これらの活動の広がりに対応し、「さらに計画的な情報発信をおこなうこと」「活動実績や報道実績を活用したファンドレイジング活動をおこなうこと」などの課題がありました。専門家と話し合いをする中で、ビッグイシュー基金が抱える広報課題として、「広報の基本的な技術や意識は高いが体制が整っていない」「広報ツールが多すぎてリーチ度や活用状況を把握できていない」「基本的な広報活動に加え、さらに振返りや計画的な作業が必要である」「メディアへの露出の成果を活かしきれていない」といったポイントがあがりました。そこで、専門家のアドバイスのもと、「広報ツールを一覧にしたリスト作成」「報道実績の整理」「今後のファンドレイジングに向けた材料整理と計画立て」「目標設定のためのミーティングの開催」の取組みをおこないました。今回の専門家派遣を生かし、今後も積極的にファンドレイジングと連動する広報に取組んでいきたいと思っています。

目標に向かって働ける人事制度設計をめざして

設立から30年以上が経過し、職員の働き方が多種多様になってきていました。団体では2009～2010年に、就業規則を全面的に見直し、時間外労働の管理やフレックスタイムの導入、有給休暇の消化促進などを盛り込んだ新しい就業規則を施行。職員からも評判がよく、ワーク・ライフ・バランスの実現の第一歩を踏み出していました。しかし、上司との職員面談はあるものの、人事考課が実施されておらず、働きぶりをきちんと評価して、また、目標に向かって各職員が働けるような人事制度設計が必要だという課題を抱えていました。専門家派遣では人事制度設計のために人材教育、研修をおこなう中で、導入にあたる職員のヒアリングと全職員向けの研修、職務分掌をおこないました。全職員向けの研修では、人事評価制度が何であるか、何のためにつくるのか、一緒に働きたい職員像を確認するなど、意識を高めることができました。NGOにとって、人事制度設計は一番の課題で重要ですが、緊急性が低いので、なかなか手がつけられない部分でもあります。今回の専門家派遣によって、見直しするきっかけになったのは、大変貴重な機会でした。

講師・専門家からの声

呉 哲煥氏
NPO法人CRファクトリー 代表理事



すべての支援の目的は、「満足」よりも「変化」だと思います。研修やコンサルティングをすることによって、団体の代表・スタッフの「満足」が得られることは重要です。し、「ためになった」「意識が変わった」と言ってもらえると、とてもうれしいものです。しかし「満足」や「意識変容」は、必ずしも「行動を変える」とは限りませんし、「現実・成果を変える」とは限りません。ここは人や組織を支援する者が常に問うべき大きなテーマです。「専門家派遣」は、複数回に渡って団体を訪問して、ヒアリングや課題の明確化をおこない、解決策の立案・実行をサポートします。そして、単に「戦略・施策の立案」とどまらず、「行動・実行」（戦略の執行／施策の実施）までお付き合いできるところが最大の魅力です。「行動・実行」までサポートして、「現実・成果」に変化を起こすことは支援のあり方としてとても重要だと思いますし、支援する団体・スタッフに明らかに変化が起きているのを目の当たりにすることは支援する者としても最高の喜びでもあります。

小久保 啓氏
PRコンサルタント



広報やコミュニケーションのアドバイスをさせていただく場合、これを実践すれば成功するという方程式はなく、一概に決まったことをアドバイスして効果が出るものではありません。各団体の実情に合わせて課題を解決していく必要があります。また、各団体の本質的な課題や隠れたPR素材をいかに見つけ出すかということも重要になります。この制度では、専門家が団体の方と与件を丁寧に整理して、隠れた課題やニーズを発掘し、アドバイスをすることができます。団体の状況やリソースを把握した上で、両者が同じゴールに向かって協働することで、短い時間で効果を出すことができるものと思います。専門家にとっては、業務としてはなかなか関わることができないプロジェクトに本格的に携わることができ、知見が広がります。さらに、自らのスキルが活かされ、団体の方に喜んでいただけることは、なにより嬉しいことです。

団体と専門家の両者に意味のあるプラットフォームであるこの制度を是非今後も続けていただきたいと思います。

NPO法人 Nagomi Visit



2011年設立。世界中の旅人と食卓を囲むホームビジットを通して、異なる文化を持つ人同士が気軽に仲良くなれる社会を目指して活動。

認定NPO法人 ビッグイシュー 基金



ホームレスの人々のセルフヘルプを応援する活動を通して、失敗しても何度でもやり直しがきく社会を目指し2007年に設立。現在はホームレスの人々への情報提供、自立の応援、問題解決のネットワークづくりと政策提言、ボランティア活動と市民参加の4本柱の応援事業を展開。

公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会



1981年設立。タイにあったカンボジア難民キャンプで子どもたちに絵本を提供することから活動を開始。現在はタイ、カンボジア、ラオス、タイ国内のミャンマー（ビルマ）難民キャンプ、アフガニスタンで活動を展開。



と ことんNPOサポートプロジェクトは、NPOサポートセンターがこれまで培った研修・支援の実績やネットワークなどの総力を結集し、約100名にも及ぶ講師や専門家のご協力を得ることで、2年間で研修受講者4,139人、個別相談348件、専門家派遣171団体とNPOを対象とした支援を実現し、プログラムとしては、国内最大の規模となりました。

本プロジェクトでは、東京都内のNPOが事業規模を拡大し、スタッフ数を増加させている中で、組織のマネジメント力やスタッフ個々人の専門性・実践力を一層高めるために、「総合」「実践」「変化」をテーマとして取組みました。

研修では、スタッフに必要な知識と経験を体系化したカリキュラムに基づいて知識を習得することを目的とした「単発講座」、業務を通じた実践を盛り込んだ、「連続講座」など総合的に提供しました。また、スタッフのキャリア構築、スタッフの採用など新たなテーマにも取組みました。

専門家派遣では、テーマを限定せずに組織にとって優先度の高い内容について柔軟にサポートすることで、多くの組織やスタッフの成長や変化につなげることができました。また、NPOサポートセンターにとってはさまざまな規模や活動分野の団体をサポートすることを通じて、組織上の課題が多様化している状況をあらためて認識する機会となりました。

本プロジェクトは2013年3月を以って終了となりましたが、各団体が今後もさらなる成果をもって成長していくために、継続的なサポート体制の構築を進めています。さまざまな講師や他団体との連携による研修の提供や専門家による支援など、総合的なサポートを提供するプラットフォームの実現を目指していきます。

最後になりましたが、本プロジェクトの実施にあたりご協力いただいた講師・専門家の皆様、広報や情報発信にご協力いただいたメディアや自治体、地域のNPO支援センターなどの皆様に厚く御礼申し上げます。



小堀 悠

NPOサポートセンター 事務局長代行
とことんNPOサポートプロジェクト 責任者

東京都新しい公共支援事業

とことんNPOサポートプロジェクト 2011・2012年度 報告書

発行 2013年6月

特定非営利活動法人 NPOサポートセンター

〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-11 第2サンビル

TEL 03-3547-3206 FAX 03-3547-3207

E-mail info@npo-sc.org URL <http://www.npo-sc.org/>